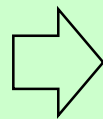


夫婦で認定農業者、後継者とともに高付加価値型農業を展開

～ いたくら まもる さゆり
板倉 衛氏・小百合氏(千葉県大網白里市) ～

経営体の概要

経営開始当初：平成10年度（経営移譲）
基幹作物：水稻(主食用米)、ねぎ
とうもろこし、そらまめ等
経営面積：6.3ha



現在：令和元年度
基幹作物：水稻(主食用米)、とうもろこし、
ねぎ、トマト、きゅうり、
そらまめ、ブロッコリー等
経営面積：10.5ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

平成26年度完了の国営かんがい排水事業と関連事業のほ場整備事業により、末端ほ場まで管路化されたことから、水稻の水管理が容易になっている。

また、本事業等の実施を契機に、平成18年度法人化された「農事組合法人細草ライスセンター（前身営農組合は平成4年度設立）」へ水稻の基幹作業を委託することで、本経営体では労働力を軽量野菜等の栽培に振り分けるとともに持続性の高い農業生産方式により、収益性の高い安定的な経営を実践している。

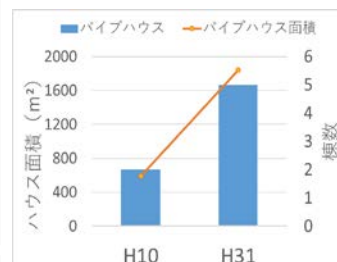
夫婦で認定農業者であるほか、後継者はねぎの栽培技術を習得しており、周年栽培を目指している。

営農改善のポイント

① 作型の変化

事業実施以前は、水路から直接ポンプでくみ上げて取水していたため、見回りにも時間を要していたが、国営かんがい排水事業及び関連事業により平成14年度から用水が管路化され、水管理に係る作業時間が7割以上軽減している。

その結果、きゅうりの播種を前倒し作業できるようになったことに伴い、以前と比較して価格の高い時期に出荷可能となった。また、パイプハウスの面積が経営開始当初の平成10年頃の590㎡から、現在1,840㎡と3倍以上増加している。



パイプハウスの面積変化

② 担い手の育成・確保

夫婦とも認定農業者として意欲的に取り組むほか、千葉県のエコファーマーに認定され、地域の畜産農家の堆肥を利用した土づくりや、天敵生物による生物防除を導入して農薬散布回数を減らす等、持続性の高い農業を行っている。

③ その他

後継者には、平成31年からねぎの栽培を任せているが、JA山武郡市が行う農業塾に参加し、栽培技術の向上を図っており、今後、周年栽培に取り組むこととしている。

また、就農支援の一環として農業大学の学生や新規参入を希望する研修生を受け入れている。



後継者が栽培しているねぎ

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市：香取市、茂原市、東金市外4市6町1村
受益面積：17,970ha
事業期間：平成5年度～平成26年度
事業目的：用水改良、排水改良
主要工事：頭首工1カ所、水門1カ所、揚水機場5カ所、
排水機場1カ所、用水路L=89km、排水路L=6km

位置図(千葉県)



両総地区

<問い合わせ先>

関東農政局
農村振興部農地整備課
電話：048-600-0600
(内線3537)

(令和元年度調査時点)